



第6回

台湾（羅東鎮）のお正月

もういくつ寝るとお正月
♪（恭喜、恭喜、恭喜你♪）

台湾にいととお正月を2度楽しむ事ができます。台湾では新暦と旧暦でお正月を2度お祝いするからです。

旧暦のお正月は日本では「旧正月」と呼び、今年の旧正月は2月15日（大晦日）から始まり、2月20日まで。この期間は、学校や会社がお休みになります。



春節を祝う
羅東鎮公所（役場）

「過年」や「春節」とも呼ばれ、羅東鎮でもさまざまな重要な行事が行われています。

日本と同じように新年を迎える準備をしますが、大掃除は業者に依頼する場合があります。

台湾の文化として旧正月は必ず下着や靴下などから服を全て新調します（特におめでたい赤色が好まれます）。親戚へのあいさつ回りや初詣には、この新調した服を着て出掛けます。特に子どもは、皆どきどきわくわくして旧正月を待ちわびています。

そして日本と同じようにおせち料理もあります。大みそかは必ず家族一同が集まり、みんなで円卓を囲み、一家団樂^{だんらん}で過ごす風習があります。

また、台湾のお正月は爆竹を鳴らすのも風物詩です。羅東鎮でもあちらこちらで爆竹の音が鳴っていて、お祭り



イルミネーションで春節を祝う
羅東鎮の公共施設（羅東文化工場）



台湾の春節の風物詩
ランタン飛ばし

ムードに包まれています。

この雰囲気は旧正月から約1カ月間続きます。

ぜひ、羅東鎮でこの旧正月を体感してみたいかがでしようか？

今回で、姉妹都市の上海市と相互交流都市の羅東鎮の紹介は終わりになります。

これまで、それぞれの街の魅力をお伝えしてきましたが、まだまだ伝えきれない魅力がたくさん残っています。機会があればまたご紹介させていただきます。と思っています。

皆さんも上海市・羅東鎮を訪れ、その魅力を実際に味わってみてはいかがでしょうか？

1年間、ご愛読ありがとうございました。